

豊かなつながりを目指して！

小郡市の「人権のまちづくり」④

― 三国中・立石中校区の取り組み ―

小郡市の人権のまちづくり

- ・ 誰もの願いを実現できるまち
- ・ 人と人が豊かに出会えるまち
- ・ 人のぬくもりを大切にできるまち

小郡市では、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指して、「人権のまちづくり」に取り組んでいます。

今回は、三国中校区と立石中校区の取り組みを紹介します。

三国中校区人権のまちづくり

人がつながるまちづくりを目指して

三国中校区は、2008年度に立ちあがりました。他地域からの転入者が多く、宅地造成が進み新興住宅地ができ入居者が増えるなど、新旧住民が混在してきた地域です。「子どもたちの健全育成」のために、地域全体で人と人のつながりを大切にした大人が協働するまちづくりとして、校区の特色をとらえて人権のまちづくりを進めています。

なかよし地域ネットは、取り組みの柱として、「情報の共有」「連携・調整」「課題の解決」を目指し、行事重視ではなく、団体や人をつなぐ役割を担っています。

新しい試み

「なかよし地域ネット通信」を発行し、情報を発信しています。「青少年育成会」「人権問題啓発推進委員会」「なかよしネット人権のまちづくり推進連絡会」の総会を合同で行っています。

地元の大学生がチューターとして中学生の学習を見守る活動も取り組まれています。また、文化事業として3月末に子どもたちを対象に観劇会や音楽会などを開催しています。このようないイベントにも、スタッフとして中高生が活躍しています。



▶今年3月に開催された観劇会「なんなんでマン」

▼中高生スタッフ



立石中校区人権のまちづくり

最後に立ちあがったのが、2009年度の立石中校区です。子どもたちを取り巻く人と人とのつながりを深め、子どもたちの活動支援を主体とし、子どもも大人も誰もが笑顔で生きていくことのできるまちづくりを目指しています。

新たな取り組みを作るのではなく、今まで行ってきた校区内の活動の連携と統合に努めています。そのために、各組織・機関・団体の取り組みの交流を行い、情報の共有、活動の調整及び連携を図っています。校区内の「たより」などを活用し、活動や情報などを発信しています。

年間の行事

くろつち祭りやペットボトルツリー点灯式等に取り組んでいます。環境教育と一体となった地域行事として、ペットボトルの回収を行っています。学校・家庭・地域で回収したペットボトルを児童生徒・保護者・地域住民がツリーに組み立て、点灯式等を行います。学ぶ意欲や自尊感情の育成につながるよう、中学生が司会や進行など主体的に運営しています。

昨年から、各校区の人権のまちづくりの紹介をしてきました。各校区、地域の特性を生かした人権のまちづくりの活動が行われています。地域の行事に、是非ご参加ください。